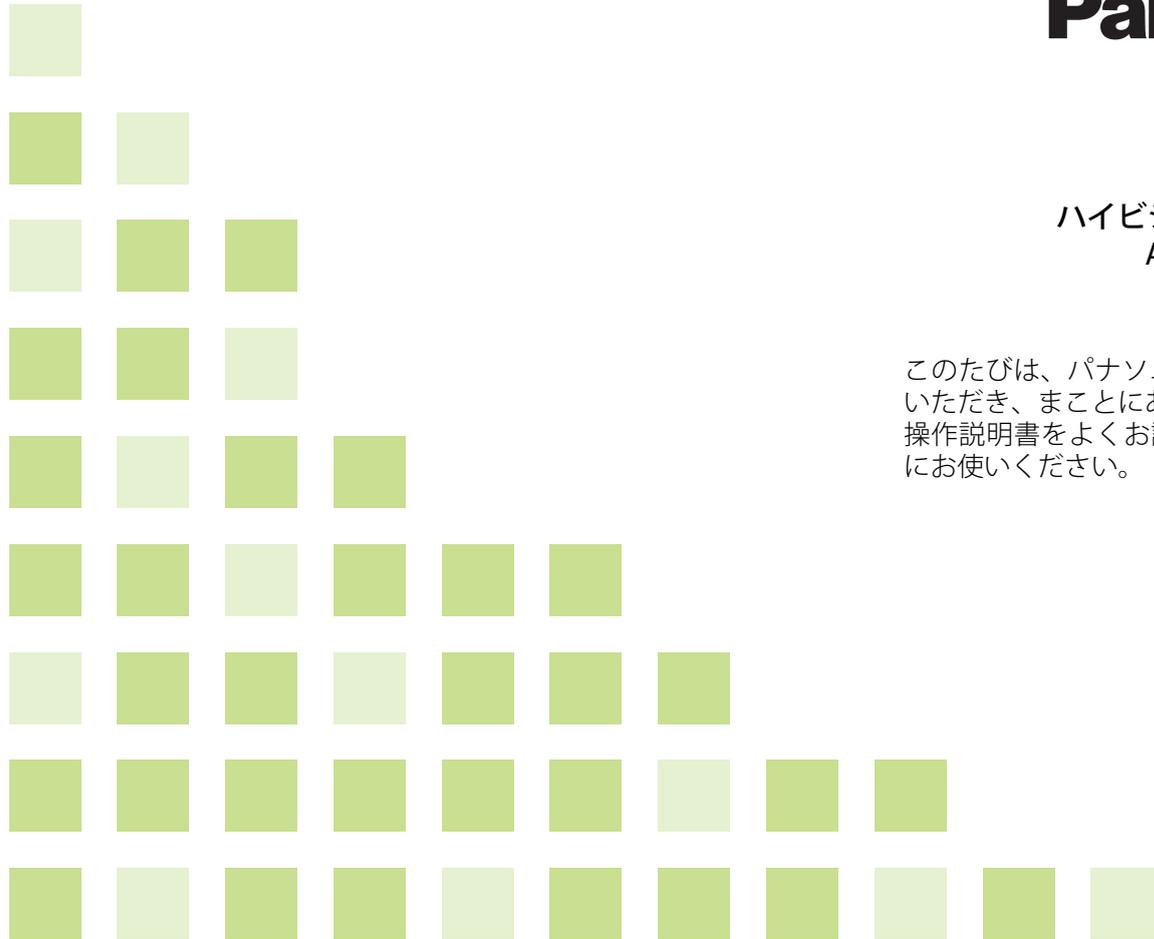


Panasonic

操作説明書

ハイビジョン映像修復ソフト
AVCCAM Restorer V3.0
for Macintosh®

このたびは、パナソニック製品をお買い上げ
いただき、まことにありがとうございます。
操作説明書をよくお読みのうえ、正しく安全
にお使いください。



M0109ATC033 -FJ

JAPANESE

VQT2C42-11

はじめに

はじめにお読みください	3
概要	4
AVCCAM Restorer でできること	4
動作環境	5

オペレーション

AVCCAM Restorer の起動と終了	6
ソフトウェアを終了するには	13

はじめに

はじめにお読みください

■ 本書の内容について

- 本書でのMacintosh®の説明は、Mac OS X 10.6の画面を使用して行っています。
- ソフトウェアのバージョンやパーソナルコンピュータの使用環境などにより、本書の説明内容・画面と実際の内容・画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。

■ 本書の用語について

- 本書では一部、AVCCAM Restorer V3.0のことを「AVCCAM Restorer」と省略して記載しています。

■ 著作権

- お客様が記録・編集されたものを、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- Macintosh®およびMac OS Xは、米国Apple Inc.の登録商標です。
- Intel®およびCore™は、Intel Corporationの米国およびそのほかの国における登録商標または商標です。
- “AVCHD” およびAVCHDロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- 米国Apple Inc.のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

概要

AVCCAM Restorerでできること

AVCCAM Restorerは、SDカードに記録した映像データの不整合を修復するソフトウェアです。

※主に以下の条件でできた不整合データを修復対象とします。

- 記録中に電源を切ったなどの理由で、カメラレコーダーがファイルの書き込みを正常に終了できなかった場合、もしくはカメラレコーダーにSDカードを再度セットしたときに、[REPAIR CLIP? YES/NO?]
上記のメッセージが表示され、[No]を選んだ場合。
- 記録された映像データのSDカードへの書き込みに失敗した場合。
- 3Dカメラレコーダーで「DATA ERROR」のメッセージが表示された場合。

- 本ソフトウェアを使用しても、データが修復できない場合があります。
- 本ソフトウェアを使用した場合、付加情報の強化のため正常なSDカードに対しても修復対象とする場合があります。この場合には、修復を実施いただいても、いまだかなくても、保存されているクリップに影響はありません。
- 本ソフトウェアは損傷した記録データの修復を対象とします。削除したデータを修復するなどの処理はできません。

- 整合の状態によっては、サムネイル画像が修復できない場合があります。ただし、修復処理を完了したSDカードをカメラレコーダーにセットし、再生フォーマットを修復されたクリップのフォーマットに合わせるとAG-3DA1以外は、サムネイル画像を表示します。再生フォーマットが修復されたクリップのフォーマットに合っていない場合、もしくはAG-3DA1の場合には[!]マーク表示になります。
- カメラレコーダーの使用方法については、カメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 不整合の状態によっては、インデックス、ショットマーク、各種メタデータは修復できない場合があります。
- 長時間連続記録したクリップは、複数のクリップに分割して修復されることがあります。
- 本ソフトウェアからデータ出力できないカメラレコーダーやUSBカードリーダーをパーソナルコンピューターに接続した場合は、メディアへの記録ができませんので修復ができません。
- カメラレコーダーで修復した後でも、本ソフトウェアで再度修復されることがあります。これは、詳細な不整合解析の結果、さらに修復が可能と判断したためです。
- 本ソフトウェアで修復処理を完了したSDカードをカメラレコーダーにセットし、本体のサムネイル画面で修復内容を確認すると、記録順と異なる順番となっている場合があります。

動作環境

■ AVCCAM Restorer V3.0

対応 CPU	Intel® Core™ Duo 2.0 GHz 以上の CPU（互換 CPU を含む）
対応 OS	プリインストールされた各日本語版 Mac OS X 10.4 (Intel Mac) Mac OS X 10.5 (Intel Mac) Mac OS X 10.6 (Intel Mac) Mac OS X 10.7 (Intel Mac) Mac OS X 10.8 (Intel Mac)

- 推奨環境のすべてのパーソナルコンピュータについて動作を保証するものではありません。
- USBハブやUSB延長ケーブルで接続した場合は、動作を保証しません。
- マルチブート環境での動作は保証しません。
- 管理者アカウントでログオンしてからご使用ください。
- マルチモニター環境での動作は保証しません。
- 修復対象となるドライブやフォルダーに別のソフトウェアがアクセスし、本ソフトウェアと同時使用となった場合、本ソフトウェアの動作は保証しません。別のソフトウェアを終了してから、本ソフトウェアをご使用ください。
- 修復対象の保存先のファイルシステムは、HFS Plus、FAT16およびFAT32であり、それ以外については保証しません。
- 本ソフトウェアは、パーソナルコンピュータの内蔵時計が1970年1月1日0時00分以降の範囲に設定されている場合でのみ動作します。この範囲外の場合、起動できない、あるいは正常に動作しない場合があります。

オペレーション

AVCCAM Restorer の起動と終了

■ SD/SDHC/SDXC メモリーカードの映像を修復します。

※パーソナルコンピュータにSDカードスロットがある場合、スロットにSDカードをセットしてください。あるいはSDカードをセットしたUSBカードリーダーとパーソナルコンピュータを接続してください。(接続方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください)

※SDカードをセットしたカメラレコーダーとパーソナルコンピュータを接続し、修復することもできます。(接続方法については、カメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください)

1 AVCCAM Restorerを保存先からダブルクリックして起動させます。

2 **A** をクリックします。



3 接続しているSDカードドライブを選び、[次へ]を選びます。



確認画面が表示され、修復対象データの検出が始まります。(修復対象データにエラーがない場合、検出完了メッセージが表示されるので[完了]をクリックし、起動画面に戻ります。また、修復対象データがない場合、もしくは修復不可能な場合はエラーメッセージが表示されますので[選択]をクリックし、起動画面に戻ります。)

4 修復対象が確認されると、確認メッセージが出るので[次へ]をクリックします。



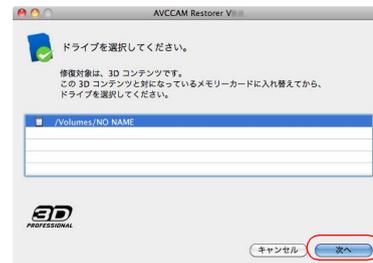
修復が始まります。

ただし3Dカメラレコーダーで記録されたSDカードである場合、修復対象の有無に関わらず、同時に使用したもう1枚のSDカードへの差し替えを要求します。(⇒A以降をご参照ください)

5 修復完了画面が表示されたら[完了]をクリックし、起動画面に戻ります。

- 修復された映像はカメラレコーダーで確認することができます。

A 3Dカメラレコーダーで記録されたSDカードである場合、SDカードの差し替え要求が出ますので同時に使用したSDカードと差し替えるか、別ドライブにSDカードを挿入し、そのドライブを選択した後に[次へ]をクリックしてください。



B 修復対象が確認されると、確認メッセージが出るので[次へ]をクリックします。



修復が始まります。

最初に入れたSDカードの修復が必要な場合、再度、SDカードの差し替え要求が出ますので、SDカードを差し替えるか、別ドライブにSDカードを挿入し、そのドライブを選択した後に、[次へ]をクリックしてください。

C 修復完了画面が表示されたら[完了]をクリックして、起動画面に戻ります。

- 修復された映像は3Dカメラレコーダーで確認することができます。

なお、本ソフトウェアでは、サムネイル画像は修復しませんので、本ソフトウェアで修復されたクリップは、3Dカメラレコーダにおいてサムネイル画像なし（！マーク）の表示になりますが、再生は可能です。詳細は3Dカメラレコーダの取扱説明書をご覧ください。

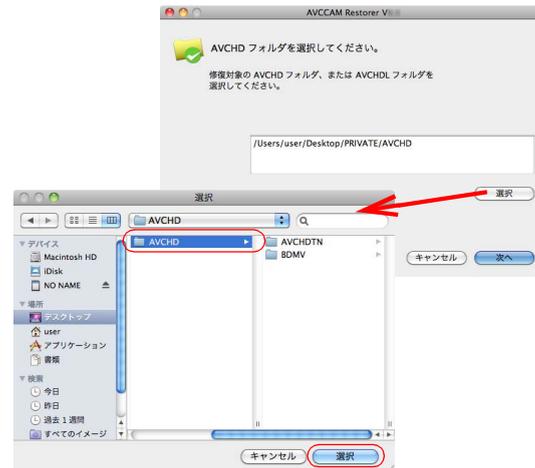
■ パーソナルコンピューターに取り込んだ映像を修復する
パーソナルコンピューターに取り込んだ映像データに不整合があった場合も、本ソフトウェアで修復することができます。

●Mac OS X 10.8 (Intel Mac) では、この機能を利用することができません。

1) AVCCAM Restorerの起動画面で、**B**をクリックします。



- 2) パーソナルコンピューター上のデータがあるフォルダーを選んで、[選択]をクリックします。
- [AVCHDL]フォルダー、もしくは[AVCHD]フォルダーを選んでください。



3) [次へ]をクリックします。

確認画面が表示され、修復対象データの検出が始まります。(修復対象データにエラーがない場合、検出完了メッセージが表示されるので[完了]をクリックし、起動画面に戻ります。また、修復対象データがない場合、もしくは修復不可能な場合はエラーメッセージが表示されますので[選択]をクリックし、起動画面に戻ります。)

- 4) 修復対象が確認されると、確認メッセージが出るので [次へ] をクリックします。



修復が始まります。

ただし3Dカメラレコーダーで記録されたコンテンツである場合、修復対象の有無に関わらず、同時に使用したもう1枚のSDカード内に記録されていたコンテンツの指定を要求します。(⇒A)以降を参照ください)

- 5) 修復完了画面が表示されたら、[完了] をクリックし、起動画面に戻ります。

- 修復された映像は、iMovie '11を使って確認することができます。またMac OS X 10.4～10.6では、PS1080/60P, 50P, SA480/60i, SA576/50i以外のクリップをAVCCAM Viewerを使って修復された映像をカメラレコーダーで確認することができます。(⇒11ページ)

- A) 3Dカメラレコーダーで記録されたコンテンツである場合、同時に記録したコンテンツの選択要望が表示されますので、そのコンテンツフォルダーを選択した後に、[次へ] をクリックしてください。



- B) 修復対象が確認されると、確認メッセージが出るので [次へ] をクリックします。



修復が始まります。

C) 修復完了画面が表示されたら[完了]をクリックして、起動画面に戻ります。

- 修復された映像は、2D映像としてiMovie '11を使って確認することができます。またMac OS X 10.4～10.6では、AVCCAM Viewerを使って修復された映像を3Dカメラレコーダーで確認することができます。(⇒13ページ)

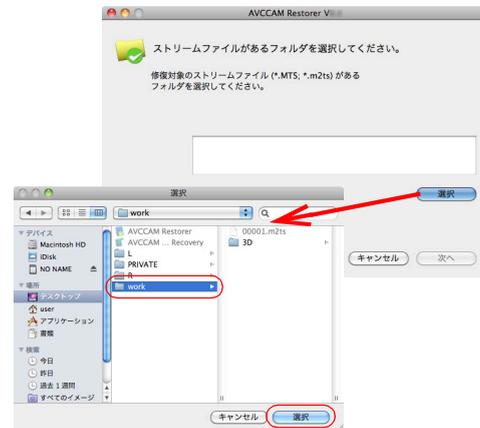
なお、本ソフトウェアでは、サムネイル画像は修復しませんので、本ソフトウェアで修復されたクリップは、3Dカメラレコーダーにおいてサムネイル画像なし(!マーク)の表示になりますが、再生は可能です。詳細は3Dカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

■ **ストリームファイルのみからAVCHDファイルを修復する**
 パーソナルコンピュータなどにストリームファイルのみが残っている場合にも、本ソフトウェアで修復することができます。ただし、ストリームが、¥PRIVATE以下のフォルダーにある場合は、修復できません。その場合は、当該ストリームを¥PRIVATE 外その他のフォルダーに移動して頂き、そのフォルダーを指定して修復を実行ください。

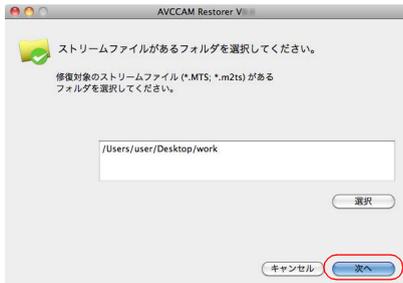
1) AVCCAM Restorerの起動画面で、C)をクリックします。



2) ストリームファイルがあるフォルダーを選んで、[選択]をクリックします。



3) [次へ]をクリックします。



4) 修復対象が確認されると、確認メッセージが出るので [次へ]をクリックします。修復が始まります。

ただし3Dカメラレコーダーで記録されたコンテンツである場合、修復対象の有無に関わらず、同時に使用したもう1枚のSDカード内に記録されていたコンテンツの指定を要求します。(⇒A)以降を参照ください)



5) 修復完了画面が表示されたら、[完了]をクリックし、起動画面に戻ります。

- 修復された映像は、iMovie '11を使って確認することができます。またMac OS X 10.4～10.6では、PS1080/60P, 50P, SA480/60i, SA576/50i以外のクリップをAVCCAM Viewerを使って修復された映像をカメラレコーダーで確認することができます。

■ 修復された映像をカメラレコーダーで確認するにはAVCCAM Viewerに取り込んだ上で、SDカードにコピーしてください。詳細はAVCCAM Viewerの取扱説明書をご覧ください。なお、AVCCAM Viewerは当社WEBサイトより無償でダウンロードが可能です。詳細は当社WEBサイトをご覧ください。

<<http://panasonic.biz/sav/>>

またAVCCAM Viewerを使わない場合は、次の操作を行ってください。

- 1) mtsファイルと同じSystemFreq(59.94 Hz/50 Hz)のカメラレコーダーでSDカードをフォーマットする。
- 2) SDカード内のPRIVATE ¥ AVCHD ¥ BDMV ¥ STREAMにmtsファイルをコピーする。
(m2tsファイルは、コピー後に拡張子をmtsに変更する)
- 3) AVCCAM Restorerを使ってSDメモリーカードの修復をおこなう。(⇒6ページ)

- A) 3Dカメラレコーダーで記録されたコンテンツである場合、同時に記録したコンテンツの選択要望が表示されますので、そのコンテンツフォルダーを選択した後に、[次へ]をクリックしてください。



- B) 修復対象が確認されると、確認メッセージが出るので [次へ] をクリックします。修復が始まります。



- C) 修復完了画面が表示されたら [完了] をクリックして、起動画面に戻ります。
- 修復された映像は、2D映像として iMovie '11 を使って確認することができます。また Mac OS X 10.4～10.6 では、AVCCAM Viewer を使って修復された映像を 3D カメラレコーダーで確認することができます。(⇒13 ページ)

なお、本ソフトウェアでは、サムネイル画像は修復しませんので、本ソフトウェアで修復されたクリップは、3Dカメラレコーダーにおいてサムネイル画像なし（！マーク）の表示になりますが、再生は可能です。詳細は3Dカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

■ 3D コンテンツのファイル名について

ストリームファイルのみから修復された映像や AVCCAM SD Card File Recovery から復元された映像を 3D カメラレコーダーで確認するには、左右のコンテンツのファイル名の一部を合わせる必要があります。AVCCAM Restorer で修復を行う前に、左目用は 20000.mts から始まる連番で、右目用は 30000.mts から始まる連番で、下4桁の数字が左右で一致するようにしてください。

■ 修復された映像を3Dカメラレコーダーで確認するには左目用、右目用、それぞれのコンテンツを AVCCAM Viewerに取り込んだ上で、それぞれSDカードにコピーしてください。詳細はAVCCAM Viewerの取扱説明書をご覧ください。なお、AVCCAM Viewer は当社 WEB サイトより無償でダウンロードが可能です。詳細は当社 WEB サイトをご覧ください。

<<http://panasonic.biz/sav/>>

またAVCCAM Viewerを使わない場合は、次の操作をそれぞれのコンテンツで行ってください。

1) mts ファイルと同じ SystemFreq(59.94 Hz/50 Hz) のカメラレコーダーでSDカードをフォーマットする。

2) SDカード内のPRIVATE ¥ AVCHD ¥ BDMV ¥ STREAMに mts ファイルをコピーする。
(m2ts ファイルは、コピー後に拡張子を mts に変更する)

3) AVCCAM Restorerを使ってSDメモリーカードの修復をおこなう。(⇒6ページ)

ソフトウェアを終了するには

起動画面の右下にある [終了] ボタンをクリックします。

Panasonic Corporation

Web Site: <http://panasonic.net>

© Panasonic Corporation 2008